

沖縄県医師会常任理事：退任のご挨拶！

前沖縄県医師会 常任理事

(てるや整形外科) 照屋 勉



「沖縄県医師会：夜の部」を担当しております「てるや整形外科」の照屋でございます。この度、晴れて「沖縄県医師会理事」を卒業させて頂くことになりました。私事で恐縮ですが、おかげさまで「てるや整形外科」が開院 30 周年を迎えることができました。また、「南部地区医師会理事」も 29 年目となり、「沖縄県医師会理事」は 16 年間務めさせて頂きました。以前より、南部地区医師会の若手の先生方に、県の理事を繋いでほしいとお願いしておりましたが、なかなか内諾を得ることができずにおりました。今回、「南部地区医師会の最終兵器」といいますか「最高最大の助っ人」である「友愛医療センターの比嘉国基先生」が快く受けてくださいましたので、手放しで喜んで心から安心して卒業させて頂きたいと思えます。

さて、現在の「日本医師会・沖縄県医師会・各地区医師会」を取り巻く環境はかなり難題山積の状況と考えております。小生的に一番の懸案事項は「医師会入会促進・事業承継問題」と考えておりますが、他にも、「かかりつけ医」・「学校医」・「警察医」・「産業医」の諸問題や、「災害医療」・「地域医療」・「離島医療」・「小児救急

医療」・「感染症対策」・「外国人医療対策」・「医療介護連携問題」などもかなり厳しい状況です。「津梁ネットワーク」・「対内広報」・「対外広報」をフル活用して、「働き盛り世代の健康問題」や「医師の働き方改革・看護師対策」などの解決策を探り続ける必要があります。また、「医事紛争対策」や「医療保険・保険指導対策」は、かなりインセンティブなポイントになると思われますので、『医師が医師会に入ることのメリット！』という小冊子を学生さんや研修医の先生方、開業を考えている勤務医の先生方にもれなくお配りして、「医師会入会促進」を図っていった欲しいと切に切に願っております。

今後とも、「各地区医師会との連携」や「医療情報の共有」などの件…ゆたしく、ゆたしくお願い申し上げます。16 年間、本当にお世話になりました。事務局の先輩方にも心から感謝申し上げます。合掌…！

【P.S.】最後に『七楽の教え by 越中富山の薬売り』をご紹介します。「楽すれば楽が邪魔して楽ならず！楽せぬ楽がはるか楽楽！」…如何でしょうか！！

